

第4章 公的制度について

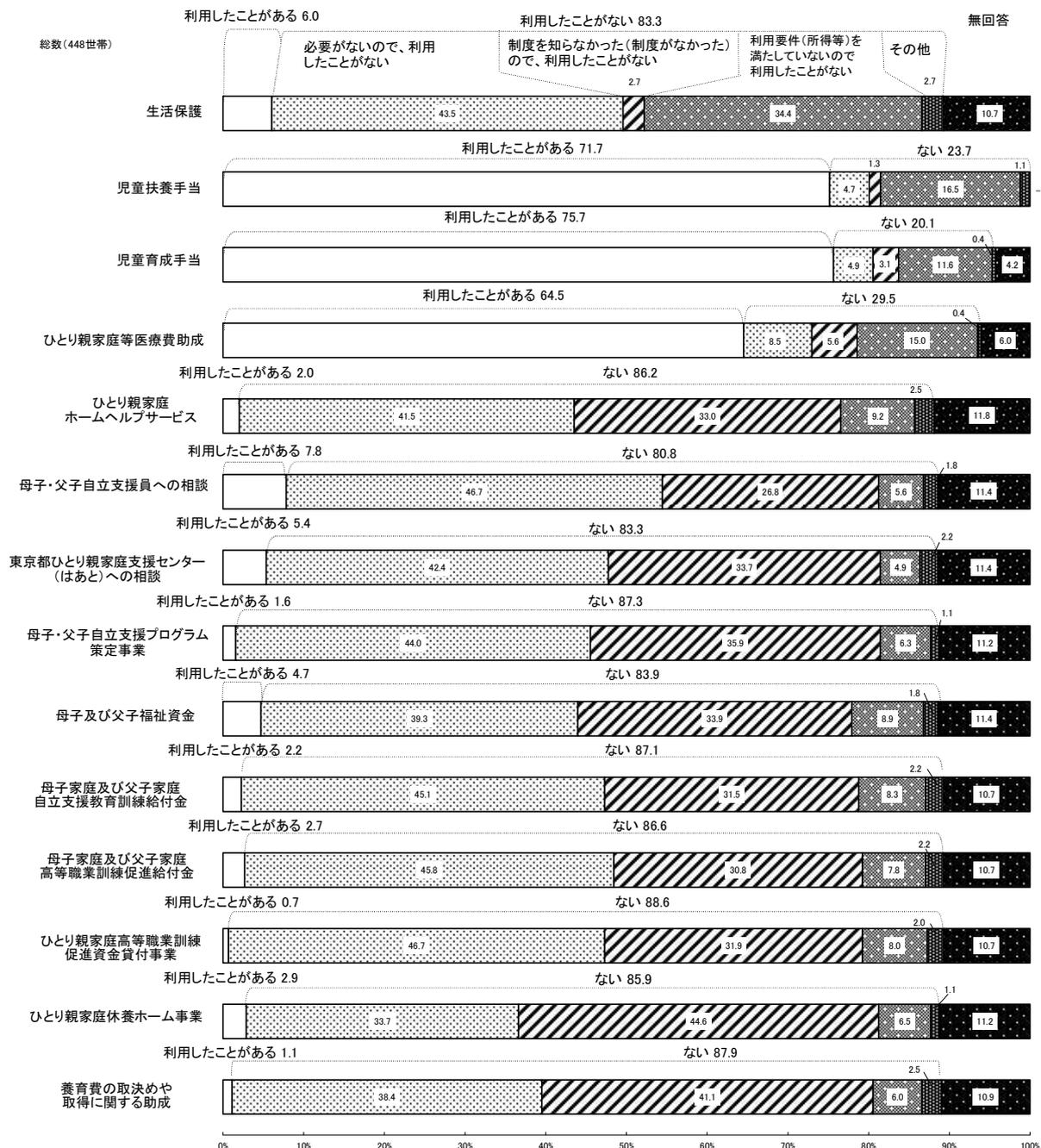
1 制度利用の有無と制度を利用していない理由

(1) 制度利用の有無と制度を利用していない理由

利用したことが「ある」の割合は「児童育成手当」が最も高く、7割超

公的制度の利用の有無について聞いたところ、利用したことが「ある」の割合は「児童育成手当」が75.7%で最も高く、次いで「児童扶養手当」が71.7%、「ひとり親家庭等医療費助成」が64.5%となっている。(図Ⅱ-4-1)

図Ⅱ-4-1 制度利用の有無と制度を利用していない理由



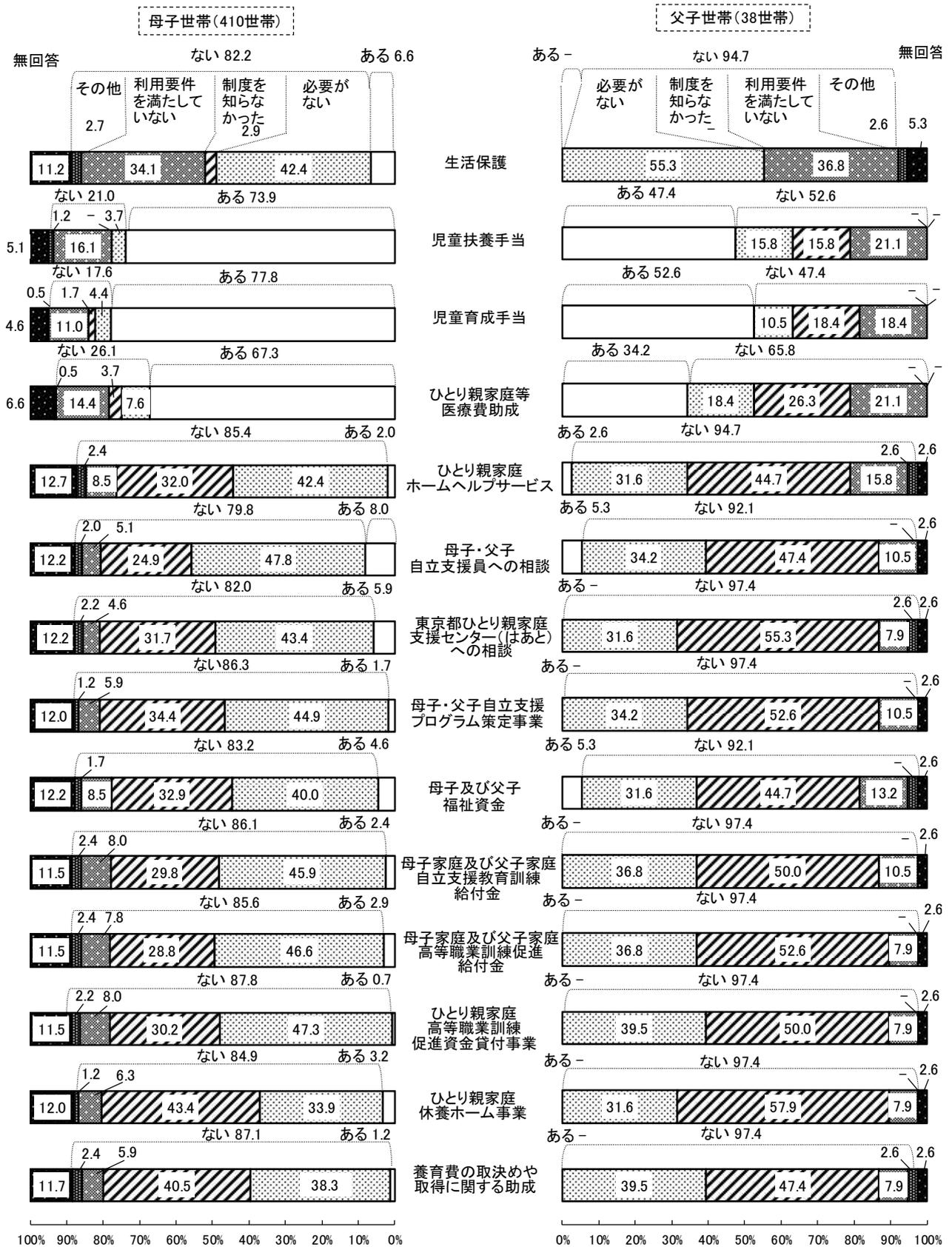
(2) 制度利用の有無と制度を利用していない理由―世帯類型（母子・父子世帯）別

「児童育成手当」を利用したことが「ある」割合は、母子世帯では 8 割超、父子世帯では 3 割超

公的制度の利用の有無について世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯では、利用したことが「ある」の割合は「児童育成手当」が 77.8%で最も高く、次いで「児童扶養手当」が 73.9%、「ひとり親家庭等医療費助成」が 67.3%となっている。父子世帯では、「児童育成手当」の割合が 52.6%で最も高く、次いで「児童扶養手当」が 47.4%、「ひとり親家庭等医療費助成」が 34.2%となっている。

母子世帯、父子世帯ともに、「ひとり親家庭ホームヘルプサービス」、「東京都ひとり親家庭支援センター（はあと）への相談」、「母子・父子自立支援プログラム策定事業」、「母子及び父子福祉資金」、「母子家庭及び父子家庭自立支援教育訓練給付金」、「母子家庭及び父子家庭高等職業訓練促進給付金」、「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業」、「ひとり親家庭休養ホーム事業」「養育費の取決めや取得に関する相談」については、利用したことが「ない」の割合が 8 割を超えている。また利用したことが「ない」と回答した世帯のうち、「制度を知らなかった」の割合は、母子世帯の「母子家庭及び父子家庭自立支援教育訓練給付金」及び「母子家庭及び父子家庭高等職業訓練促進給付金」がそれぞれ 29.8%、28.8%で、その他は 3 割を超えている。（図Ⅱ-4-2）

図Ⅱ-4-2 制度利用の有無と制度を利用していない理由—世帯類型（母子・父子世帯）別

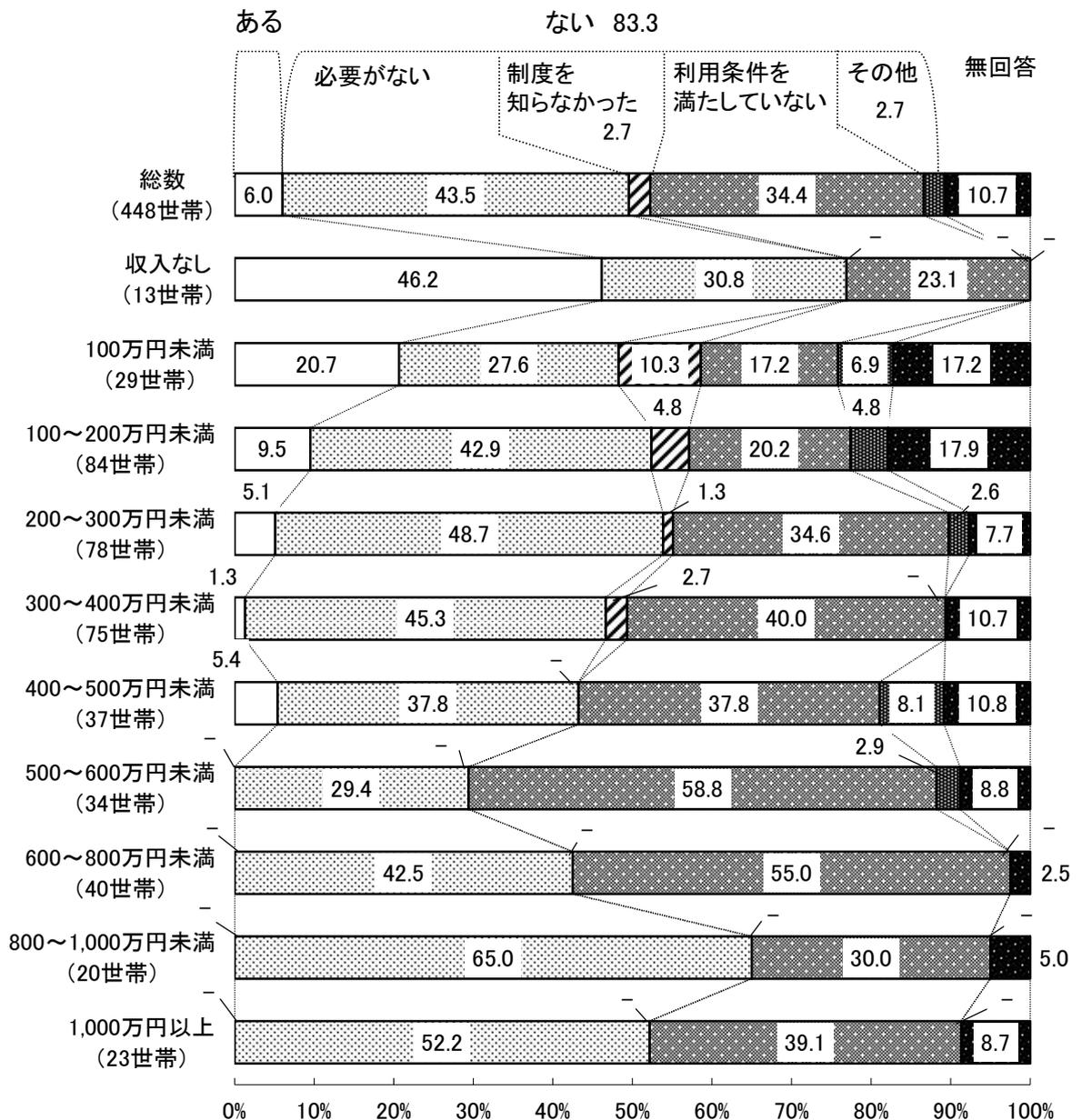


(3) 制度利用（生活保護）の有無と制度を利用していない理由—世帯の年間収入別

生活保護を利用したことが「ある」割合は、「収入なし」の世帯では4割超、「100万円未満」では約2割

公的制度（生活保護）の利用の有無と制度を利用していない理由を世帯の年間収入別にみると、生活保護を利用したことが「ある」割合は、「収入なし」では46.2%、「100万円未満」では20.7%、「100～200万円未満」では9.5%、「200～300万円未満」では5.1%となっている。
 (図Ⅱ-4-3)

図Ⅱ-4-3 制度利用（生活保護）の有無と制度を利用していない理由—世帯の年間収入別



第5章 就労について

1 転職希望

(1) 転職の希望－世帯類型（母子・父子世帯）別

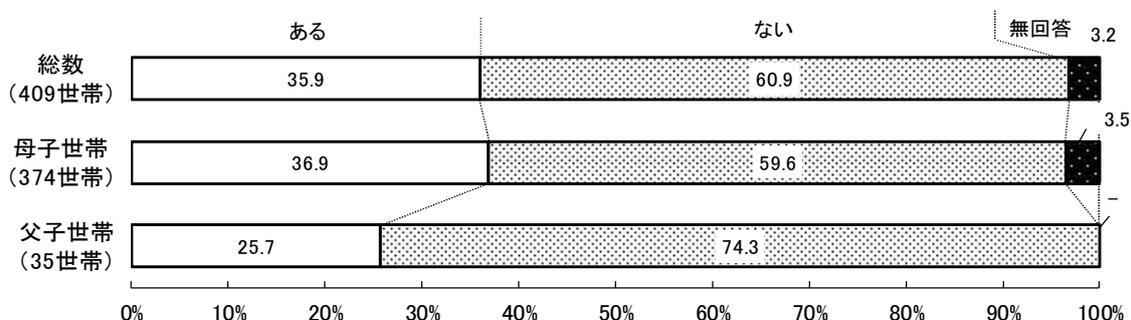
転職の希望が「ある」母子世帯は3割超

働いている世帯（409世帯）に転職する希望があるか聞いたところ、転職の希望が「ある」の割合は35.9%となっている。

転職の希望があるかを世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、「ある」の割合は、母子世帯36.9%、父子世帯が25.7%となっている。（図Ⅱ-5-1）

（注）「働いている」世帯とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」と回答した世帯である。

図Ⅱ-5-1 転職の希望－世帯類型（母子・父子世帯）別

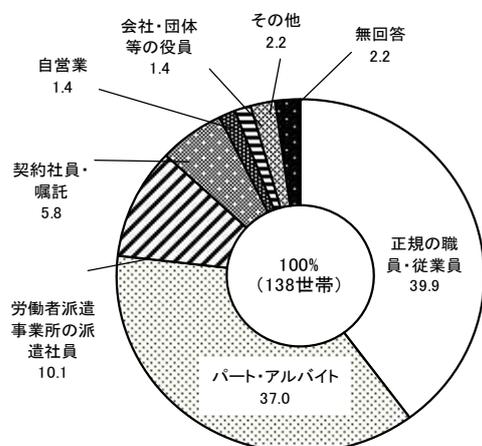


(2) 母の転職の希望－従業上の地位別

転職の希望が「ある」母子世帯の約4割は、正規の職員・従業員

転職の希望が「ある」と回答した母子世帯（138世帯）を従業上の地位別にみると、「正規の職員・従業員」の割合が39.9%で最も高くなっている。（図Ⅱ-5-2）

図Ⅱ-5-2 母の転職の希望－従業上の地位別



（注）父子世帯は、転職希望者が9世帯のため省略した。

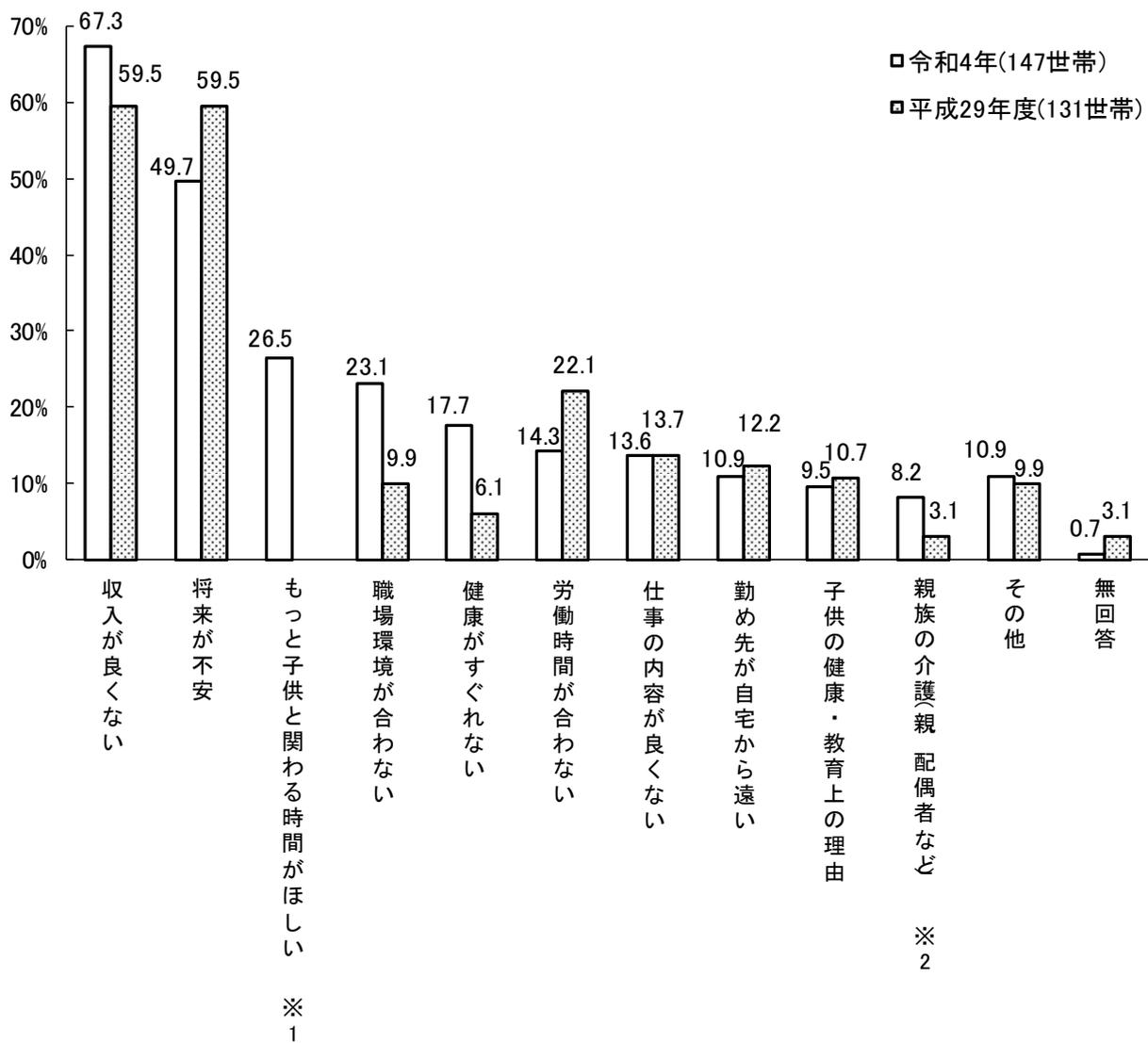
2 転職したい理由

(1) 転職したい理由〔複数回答〕－29年度調査との比較

「収入が良くない」の割合が6割超

転職の希望が「ある」と回答した世帯（147世帯）に、転職したい理由を聞いたところ、「収入が良くない」の割合が67.3%で最も高くなっている。（図Ⅱ-5-3）

図Ⅱ-5-3 転職したい理由〔複数回答〕－29年度調査との比較



(注) ※1は、平成29年度調査では選択肢を設けていないため、データが存在しない。

(注) ※2は、平成29年度調査では「親の介護」としていた。

(2) 母の転職したい理由〔複数回答〕－従業上の地位別

「収入が良くない」の割合は、正規の職員・従業員、パート・アルバイトで、それぞれ6割超

母の転職したい理由を従業上の地位別にみると、正規の職員・従業員、パート・アルバイトでは、それぞれ「収入が良くない」の割合が最も高くなっている（63.6%、64.7%）。

(表Ⅱ-5-1)

表Ⅱ-5-1 母の転職したい理由〔複数回答〕－従業上の地位別

	総数	収入が良くない	勤め先が自宅から遠い	健康がすぐれない	仕事の内容が良くない	職場環境が合わない	労働時間が合わない	将来が不安	理由 子供の健康・教育上の	子供 の健康・教育上の	もつと子供と関わる 時間が欲しい	親族の介護 (親、配偶者など)	その他	無回答
総数	100.0 (138)	65.9	10.1	18.1	12.3	23.2	15.2	50.7	9.4	26.1	8.0	10.9	0.7	
自営業	100.0 (2)	100.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	
正規の職員・従業員	100.0 (55)	<u>63.6</u>	18.2	14.5	12.7	29.1	25.5	43.6	7.3	41.8	10.9	10.9	-	
会社・団体等の役員	100.0 (2)	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-	100.0	-	-	-	
パート・アルバイト	100.0 (51)	<u>64.7</u>	5.9	29.4	13.7	21.6	13.7	52.9	13.7	15.7	7.8	3.9	2.0	
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (14)	50.0	7.1	14.3	14.3	14.3	-	50.0	7.1	21.4	7.1	35.7	-	
契約社員・嘱託	100.0 (8)	87.5	-	-	12.5	12.5	-	62.5	-	-	-	-	-	
その他	100.0 (3)	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	

(注) 父子世帯は、転職希望者が9世帯のため省略した。

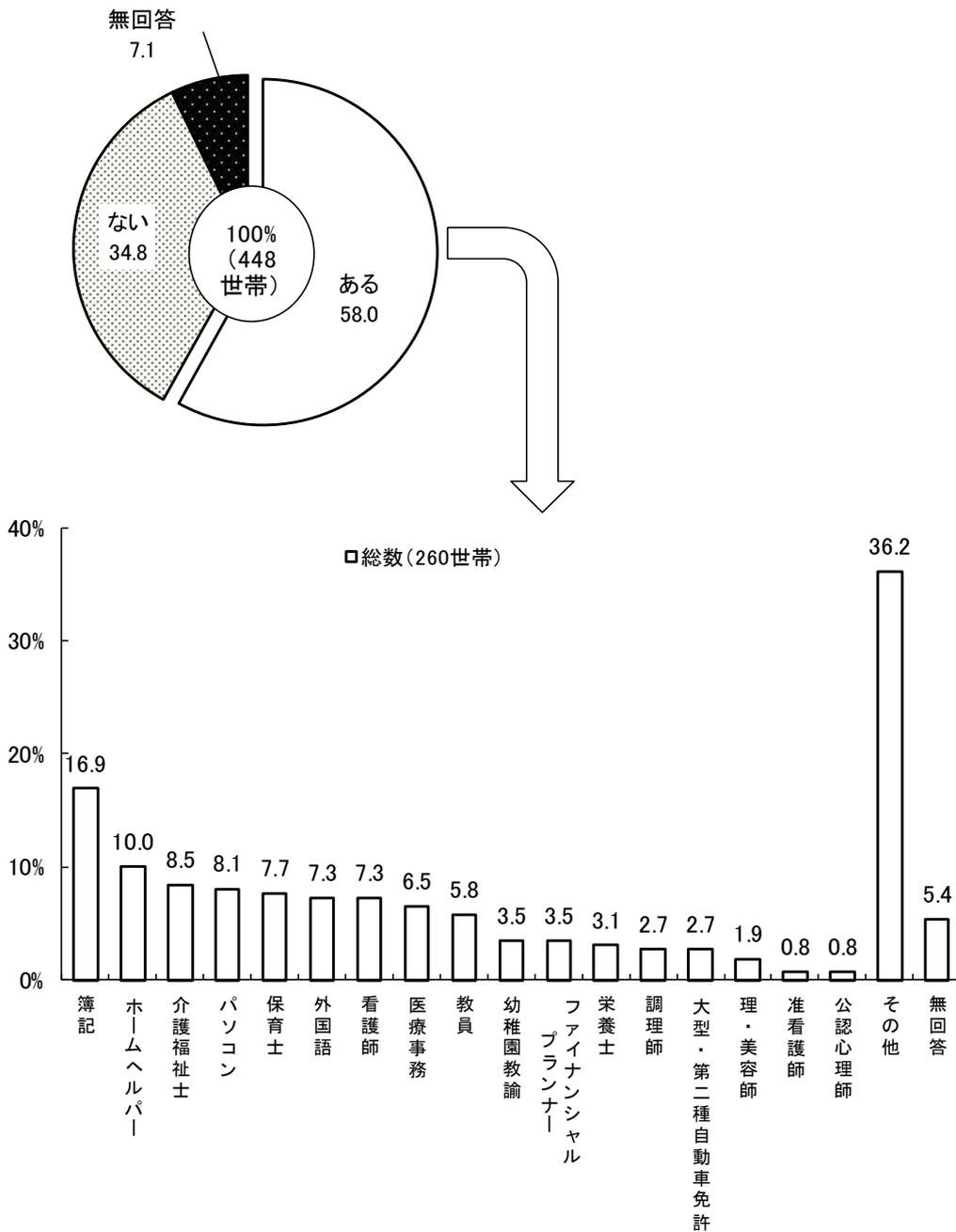
3 資格の有無

(1) 資格の有無と種類〔複数回答〕

資格を持っている割合は約 6 割

資格の有無を聞いたところ、「ある」の割合が 58.0%となっている。さらに、「ある」と回答した世帯 (260 世帯) にその種類を聞いたところ、「その他」を除くと、「簿記」の割合が 16.9%で最も高く、次いで「ホームヘルパー」の割合が 10.0%となっている。(図 II-5-4)

図 II-5-4 資格の有無と種類〔複数回答〕



※その他の回答：キャリアコンサルタント、医師免許、薬剤師免許、宅建、社会福祉士など。

(2) 資格が仕事上役立っているか—資格の種類〔複数回答〕別

持っている資格が「仕事上役に立っている」割合は6割強

資格が「ある」と回答した世帯（260世帯）に、資格が仕事に役立っているか聞いたところ、「仕事上役に立っている」の割合は、65.4%となっている。（表Ⅱ-5-2）

表Ⅱ-5-2 資格が仕事上役立っているか—資格の種類〔複数回答〕別

	総 数	仕 事 上 役 に 立 っ て い る	仕 事 に 役 立 っ て い な い	無 回 答
総数	100.0 (260)	65.4	31.2	3.5
簿記	100.0 (44)	50.0	47.7	2.3
ホームヘルパー	100.0 (26)	42.3	50.0	7.7
教員	100.0 (19)	66.7	33.3	-
看護師	100.0 (7)	94.7	5.3	-
准看護師	100.0 (21)	100.0	-	-
調理師	100.0 (7)	57.1	42.9	-
理・美容師	100.0 (5)	80.0	20.0	-
パソコン	100.0 (21)	76.2	23.8	-
外国語	100.0 (19)	68.4	31.6	-
栄養士	100.0 (8)	62.5	37.5	-
介護福祉士	100.0 (22)	86.4	13.6	-
保育士	100.0 (20)	80.0	15.0	5.0
幼稚園教諭	100.0 (9)	100.0	-	-
公認心理師	100.0 (2)	100.0	-	-
大型・第二種自動車免許	100.0 (7)	42.9	42.9	14.3
医療事務	100.0 (17)	64.7	35.3	-
ファイナンシャルプランナー	100.0 (9)	66.7	33.3	-
その他	100.0 (94)	60.6	33.0	6.4

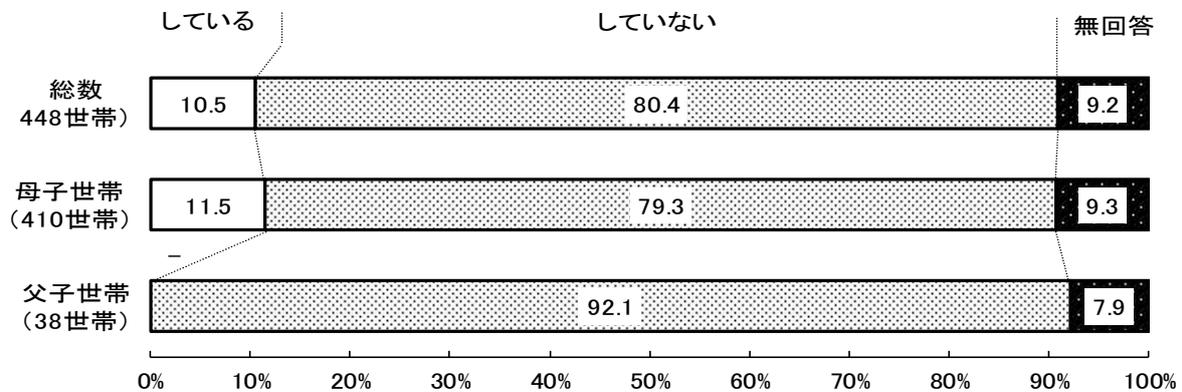
4 副業の有無と形態〔複数回答〕－世帯類型（母子・父子世帯）別

副業をしている世帯は約1割

副業をしているかを世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、「している」と回答があったのは母子世帯のみで、割合は11.5%となっている。（図Ⅱ-5-5）

また、副業をしていると回答した母子世帯（47世帯）に、どのような形態で行っているか聞いたところ、「本業が休みの日に自宅以外の場所で行っている」の割合が53.2%で最も高く、次いで「自宅で行っている」が21.3%、「本業終了後に自宅以外の場所で行っている」が14.9%となっている。（図Ⅱ-5-6）

図Ⅱ-5-5 副業の有無－世帯類型（母子・父子世帯）別



図Ⅱ-5-6 副業の形態〔複数回答〕

